

千葉大学医学部附属病院で一般撮影検査を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年5月28日

放射線部

現在、放射線部では、「一般撮影マネジメントシステム導入による医療安全推進と撮影技術教育の効果について」を行っています。今後の診療に役立てることを目的に、この研究では一般撮影検査を施行された患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年6月1日～2025年3月31日の間に一般撮影検査を施行された方

1. 研究課題名

「一般撮影マネジメントシステム導入による医療安全推進と撮影技術教育の効果について」

2. 研究の意義・目的

一般撮影マネジメントシステムである RADInsight®では再撮影数や検査時間を収集し、再撮影率や稼働率を算出することができます。RADInsight®を用いた再撮影管理に加え、若手技師の指導や教育にも繋げることができれば、再撮影率の低減、検査時間の短縮が可能となり、患者さんに対するメリットが大きくなります。そのため、RADInsight®が医療安全の推進および技術向上のための教育に効果があるのかを検討します。

3. 研究の方法

2023年6月1日から2025年12月31日の間において、一般撮影検査を施行された患者さんの画像を一般撮影マネジメントシステム RADInsight®を用いて、撮影部位別における再撮影内容および再撮影率を調査します。

4. 研究に用いる情報の種類

一般撮影検査を施行された患者さんの画像データ

5. 研究組織

研究機関：千葉大学医学部附属病院放射線部

研究責任者：千葉大学医学部附属病院放射線部 副診療放射線技師長 奥村 健一郎

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られたデータは氏名・生年月日・患者 ID を削除し，研究用 ID を付与して特定の個人が容易に識別できないように加工して取り扱います。また，千葉大学医学部附属病院一般撮影室の他のコンピュータと切り離されたコンピュータを使用し，外部記憶装置に記録させ，そのメディアは鍵をかけて，外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては，患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。

本研究についてご希望があれば，他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で，研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので，相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については，千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)」

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

研究に情報を利用して欲しくない場合には，研究対象とせず，原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので，下記の窓口までお申し出ください。また，情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問，ご相談等は，下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

放射線部 伊藤 僚 診療放射線技師
043 (222) 7171 内線6307